

第 1 回富士市建設産業活性化協議会

日時：令和 5 年 7 月 26 日（水）午後 2 時 30 分から
場所：富士市役所 消防庁舎 3 階 作戦指令室兼会議室

次 第

- 1 挨拶
- 2 現状把握と今後の具体的な取組について
- 3 意見交換
- 4 閉会

-
- | | |
|------|--------------------|
| 資料 1 | 次第 |
| 資料 2 | 出席者名簿 |
| 資料 3 | 座席表 |
| 資料 4 | 説明資料 |
| 資料 5 | ワーキンググループメンバー一覧（案） |



富士山とともに 輝く未来を拓くまち
SDGs 未来都市 富士市
1

第1回富士市建設産業活性化協議会

FUJI
CITY

本日説明すること

➡ 1 富士市における建設産業の現状把握

2 今後の具体的な取組について

3 今後のスケジュール

建設産業 の役割

建設産業はインフラの整備を担うと同時に、日常的な維持管理を担うほか、災害時には極めて厳しい状況の中、最前線で安全・安心の確保を担うなど…

「社会資本の担い手」「地域の守り手」として、なくてはならない産業

問題点

担い手不足などの問題が顕在化しており、このまま手をこまねていると、まちをつくる・まもるパートナーが消滅してしまう…

これらを踏まえ…

→建設業界団体のリアルな声を聞くためのヒアリングを実施

富士市建設業組合：13人(9社)、富士市水道指定工事店協同組合：1人(1社)、(一社)静岡県測量設計業協会：1人(1社)

→ヒアリング結果を踏まえ、建設産業の課題を整理し、
具体的な取組を検討

3

第1回富士市建設産業活性化協議会

本日説明すること

1 富士市における建設産業の現状把握

➡ 2 今後の具体的な取組について

3 今後のスケジュール

4

2 今後の具体的な取組について

課題① 働き方改革の推進

～ヒアリング結果～

- ◎ 週休2日には適正工期と経費増額が必要。
- 更なる平準化をお願いしたい。
- 日中は現場施工や発注者対応に追われ、時間外に書類等の作成を行っている。
- 提出書類が多く、仕様書以上の書類を求められることがある。
- ◎ 書類・検査の簡素化を国県並みにしてほしい。
- H P だけでなく変更点は年度当初に説明会を開催して欲しい。
- 提出書類に対する統一的理解がないように感じられる。
- 優良会社には、書類、検査等の更なる簡素化を求める。
- 契約後に協議未了が発覚し、着手出来ないことがある。（地下埋設物協議、河川協議など）条件明示の徹底
- 発注図書の品質低下を感じている。現場不一致が特に多い。発注者の技術力向上が求められる。
- 民間工事は週休2日では受注困難。

～具体的な取組（案）～

- ✓ 週休2日の推進検討
- ✓ 適正工期の確保（発注工程公表）
- ✓ 適正発注ロットの徹底（ランク）
- ✓ 発注時期、工事規模の公表範囲の拡大
- ✓ 施行時期の平準化
- ✓ 工事書類、検査の簡素化
- ✓ 富士市ウェブサイト掲載情報の周知徹底
- ✓ 市発注工事に関する説明会の開催
- ✓ 条件明示チェックリストの導入
- ✓ 週休2日の民間工事への波及



働き方改革WGで検討

（適正な工期の確保、
検査の簡素化 等）

2 今後の具体的な取組について

課題② 生産性の向上

～ヒアリング結果～

- ICT建機は生産性向上を実感している。
- 生き残りには取り組んでいくしかない。
- ◎ 市発注工事で活用できる現場が少ない。
- 大規模土工、舗装などの工事での活用が適している。
- ICTに抵抗感がない若手社員の積極的な取組を推進し、即戦力になれるという仕事の喜びを知ってもらいたい。
- 講習会の受講よりとにかく現場で使うことが技術習得への近道。
- ASPの導入は良かったがソフトを統一すれば更に効率があがると思われる。
- 電子納品の成果が活用されていないと思われる。
- ◎ 技術の進む速度が速く費用投資が厳しい。
- ICT、DXの推進に伴う機器購入等の補助制度を設立して欲しい。

～具体的な取組（案）～

- ✓ ICTを活用できる市発注工事の現状把握
- ✓ ICT、DXのエキスパートの育成
- ✓ 発注者側（市役所）職員の研究、研修
- ✓ 遠隔臨場、BIM/CIM等の導入検討
- ✓ システム化・データベース等の検討
- ✓ ICT、DXの推進に伴う機器購入等の補助制度の検討
- ✓ DXセミナーの開催



生産性向上WGで検討

（富士市に合った建設産業DX 等）

2 今後の具体的な取組について

課題③

担い手の確保・育成

～ヒアリング結果～

- ◎ とにかく建設業界のイメージアップPRが必要。
- 監督と作業員の違いについて、若者に理解されていない。
- 新入社員を募集しているが、手応えがない。
- マイナビ、リクナビなどに掲載しているが、効果はなく、ハローワークからの紹介が多い。
- 担い手確保は、各社がライバルとなる。
- 中堅技術者が少なく、若手指導をベテラン職員が行っており、意志疎通が図れていない。
- 休日が無いと就職サイトに登録もできない。
- 近年給料を上げているが、それでも採用活動が厳しい。
- ◎ 給料を上げる原資を確保するには利益のできる工事をコンスタントに受注する必要がある。
- 従業員の意見を聞き、仕事用のポロシャツ、パーカーなどを作製し、士気を高めている。
- 資格を積極的に取得できるよう、費用も含めて会社全体でサポートしている。

～具体的な取組（案）～

- ✓ 土木の魅力・必要性を発信する積極的なPR
- ✓ 企業フェア等の積極的なブース出展
- ✓ 市外からの技術者確保
- ✓ 高校生（普通科）へのアプローチ
- ✓ インターンシップ、人材確保、移住等への補助金
- 【各社での取組】
- ✓ 土木技術者を育成するための教育制度の充実
- ✓ 土木技術者が働きやすい環境の整備
- ✓ 安定した休日と給料の確保
- ✓ 福利厚生充実（被服の支給など）
- ✓ 職場環境、金銭面を含めた資格取得へのサポート



広報WGで検討

（土木の魅力・必要性を発信するPR 等）

2 今後の具体的な取組について

課題④

経営の安定化

～ヒアリング結果～

- 利益が上がらない工事が多い。
- ◎ 優良認定を受けているが、入札件数が少ないため、メリットが感じられない。
- 一般競争入札が増えたため、地元地区以外の会社の進出が活発になり、仕事を取りにくくなった。
- ◎ 各地区に分かれた指名競争入札があった方がよい。
- スライド条項が適用されないと、利益が上がらない。
- 見積単価の場合、根拠を明示して欲しい。
- 物価の変動に合わせ、細かく変更精算してほしい。
- 物価調査会の活発な動きを求める。（物価本の更新より前に、メーカーが価格を引き上げてしまう）
- インボイス制度に関する説明会を開催して欲しい。
- ◎ 仕事に対するプライドが薄いため、子供に家業を継がせない業者が多いと聞いている。
- 会社の後継者がいないため、建設業界の今後について考えていくグループがなく、結束がない。

～具体的な取組（案）～

- ✓ 優良工事施工業者に対する優遇措置
- ✓ 最低制限価格の引き上げ
- ✓ 格付け等級ごとの入札参加者の設定
- ✓ 工事場所の地域性を考慮した指名競争入札
- ✓ 富士市における週休2日制工事のあり方検討
- ✓ 資源高騰に対するスライド条項適用の徹底
- ✓ 工期に比例した経費率の改善
- ✓ 物価変動に合わせたスピード感を持った変更対応
- ✓ インボイス制度、事業継承に関するサポート



請負契約WGで検討

（安定した業務発注に向けた取組等）

2 今後の具体的な取組について

～ヒアリング結果～	課題⑤ 安全・安心の確保	～具体的な取組（案）～
● 多くの機関と災害協定を結んでいるため、役割を果たしきれぬ不安である。 ● 発災時には実績が多い業者（技術者）に依頼が集中すると考えられる。 ◎ <u>実働訓練未実施のため、発災した時のイメージができない。</u> ● 災害対応に協力したいと考えているが説明が無いため具体的に準備出来ない。 ● 発災時にどれだけの人員を確保できるかの現状調査が必要である。 ◎ <u>協定業者へのインセンティブが必要。</u>		✓ 実務者レベル意見交換会の開催 ✓ 訓練（情報伝達・実働）の実施 ✓ 道路啓開行動マニュアルの策定 ✓ 発災想定ごとの人員・資機材把握 ✓ 協定業者へのインセンティブ検討



防災WGで検討

（実働防災訓練の実施 等）

2 今後の具体的な取組について

課題① 働き方改革の推進 ● 長時間労働の是正（週休2日の後押しなど） ● 適正な工期設定 ● 発注・施工時期の平準化 ● 書類・検査の簡素化 働き方改革WG	課題② 生産性の向上 ● ICTの推進 ● DXの推進 ● ICT・DXの推進に関する社員教育 生産性向上WG	課題③ 担い手の確保・育成 ● 担い手確保のためのPR事業の実施 ● 3K(きつい、汚い、危険)の脱却 ● 新3K(給料、休日、希望)の取組 ● 若手社員の教育 広報WG
 5つのWGで 取組を推進	課題④ 経営の安定化 ● 長時間労働の是正による現場サイドへのしわ寄せ ● 安定した業務の受注 ● 市発注工事の改善 ● 資源高騰に対する不安 ● 事業の継承 請負契約WG	課題⑤ 安全・安心の確保 ● 災害時における対応力の充実・強化 防災WG

本日説明すること

1 富士市における建設産業の現状把握

2 今後の具体的な取組について

➡ 3 今後のスケジュール

11

3 今後のスケジュール

R5	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
建設産業 活性化協議会	第1回					第2回			
働き方改革WG			●		●				
		適正な工期の確保、検査の簡素化等							
生産性向上WG			●	●					
		富士市に合った建設産業DX等							
広報WG			●	●					
		土木の魅力・必要性を発信するPR等							
請負契約WG		●	●	●					
		安定した業務発注に向けた取組等							
防災WG		●	●						
		実動防災訓練の実施等							

↑
各WG
での検討結果を報告

12